

一般質問



美しい湖南市きれいな まちづくりについて！



無会派 ● 小林 義典 議員

インフラ整備について

問 わが町に埋設している下水道管の点検について。

答 下水管に関しては、あらゆる機会を捉えて管路の巡視・点検を行い早期発見、事故の未然防止に努めます。上水道においても日常点検を行っています。

問 石部地域での開発で水害は想定されないのか。

答 開発区域内に調整池が設けられる計画となっており、これは、開発区域内における平地部の限られた区域に開発区域内から流出する雨水を、一時的に調整池に貯め、下流域水路の流下能力に応じた排水調整をすることにより、下流域となる住宅地などに影響が生じないようにするためです。

市内公施設について

問 市内貸し館や施設において利用料金の増額がなされたが利用数・利用率に変化は？

答 利用料1.5倍で利用料金総額は1.2倍です。で利用者数は若干減です。

問 石部交流センターの利用について。

答 湖南市地域総合センター条例に基づき、運営管理及び運営に関する規則と湖南市の休日と定める条例で規定していますので、土日祝日及び平日17時以降は利用できません。

国民健康保険について

問 健康保険証の不正利用について。

答 なりすましや使いまわしなどの不正使用について報道されていますが、その実態把握や調査は厚生労働省でもされていません。



健全な財政運営について



無会派 ● 加藤 貞一郎 議員

行政改革の着実な実施について

問 行政改革の推進を図るため、既存の事務事業について行政がどこまでやるか、という行政の守備範囲についての検討は重要な課題として取り組むことは不可欠であると考えて健全財政を保ちながら住民の要望をより多く充足し、適正な行政水準を確保し向上することも行政の責任であると考えますが、市長の考えをおたずねします。

答 行政がどこまでやるのかを勇気を持って決断していかなければならない時期であると考えます。

行政の守備範囲については、市民が安心して暮らせる豊かな生活環境を提供していくため限られた財源の中で安心して豊かな暮らしができるため市民の理解

を得ながら行政改革を進めていきます。

長期的な財政安定を保持することについて

問 自治体の健全な財政運営は、単年度限りのものではなく常に長期的な視野に立って、後年度以降の財政運営を配慮する必要があるが時の経済の動向に変わされやすい体質がある中、長期的視野に立って健全財政を継続するための取り組みについて、おたずねします。

答 自治体の歳入歳出は経済状況により大きく影響するが、財源の捻出や歳出の削減が非常に困難な状況にあっても市民生活に悪影響を及ぼすことはできず、財源確保対策として、企業誘致や国道1号の早期4車線化によるまちの賑わい等で税収を確保し、安定した財政運営に取り組みます。